

令和3年度第1回三重県看護職員確保対策検討会 議事概要

開催日時：令和3年9月

開催場所：書面会議

<議題>

1 令和3年度看護職員確保対策事業について

(1) 三重県の看護職員の現状

資料1のとおり

(2) 令和3年度三重県看護職員確保対策体系別事業

資料2のとおり

(3) 助産師養成確保に関する調査結果

資料3より、令和3年8月に、助産師が所属する施設の看護管理者及び助産師本人を対象に実施した調査結果を報告。分娩取扱いあり施設では、51.7%の施設で助産師が不足している。9月7日に開催した「助産師養成確保に関する懇話会」の意見もふまえ、今後は、修学資金制度の周知強化、助産師の魅力の普及啓発、段階別研修の充実を図りたい。

【意見】

- 修学資金制度の義務勤務期間経過後、県外者が転出する事が多くあっても、その期間だけは留まるため、多くの学生が助産コースをとり県内就職となるよう勧めてほしい。
- 助産師魅力の普及啓発について、1日看護体験などの職場体験や、看護学生の時の産科での実習で、助産師への強い興味をもってもらえるような働きかけ等助産師からの強いアピールの機会を多く持つてはどうか。
- 適正な仕事内容を「魅力的」に伝えることを、当該者にはもちろん、世間一般にも広く周知を図って、助産師の地位向上について普及・啓発を徹底することに努めていただきたい。
- コロナ禍で困難なときは、オンラインで魅力発信を行ってはどうか。
- 助産師の採用に際し、看護師採用枠と別枠を設けていただきたい。

2 感染管理認定看護師教育課程について

資料4より、令和4年度に三重県立看護大学が、特定行為研修指定研修機関である三重大学病院と連携して感染管理認定看護師教育機関（B課程）を開講する旨、情報提供。本県では、令和3年度から病院等に対し、感染管理認定看護師教育課程の受講料補助を行っており、令和4年度は教育機関の運営費補助についても検討していく。

【意見】

- 県立看護大学の開講と受講料の補助等について県内病院の院長、看護部長に周知いただきたい。
- 感染管理に関する質の高い看護師の育成は急務であることから、特定行為研修を切り離れた教育プログラムを是非検討していただきたい。
- 今後のウイルス・細菌との闘いは、いっそう広範に長期化するだろう。対応する病院内でいったん緩急あった折に①必要なマニュアル作成②システム構築③適切な院内ラウンドなどを仕切れる人材の確保は急務であるため、適切な各種補助が望まれる。
- 感染管理は、介護施設としても重要であり認定看護師を多く輩出してほしい。

3 新型コロナウイルス感染症流行下における新卒看護職員のフォローアップについて

資料5より、令和3年8月に、新卒助産師・看護師・准看護師を採用した病院の看護管理者を対象に実施したフォローアップ状況に関する調査結果について報告。

- ・コロナ禍において、各病院等で新卒看護職員の研修内容の拡充、研修期間や日数の増加、指導者の人員を手厚くする等丁寧に教育を行っている。
- ・本県では、調査結果を病院等に配布し、人材育成にご活用いただくとともに、引き続き、看護師等養成所へのシミュレーターモデルの貸し出しや新人看護職員研修事業費補助金、多施設合同研修等を実施することにより支援を行う。

【意見】

- 本格的な独り立ちをしてからどうかということが、8月以降顕在化するかもしれない。ひと昔前とは異なる状況があり、コロナ禍であるから特別という状況という事ではないとも思われる。
- 新人看護職員がローテーション研修等を行っている期間、その分の人材補充を検討していただきたい。コロナの受け入れ病院で人材が不足している場合、研修にあたる人材を補充していただきたい。
- 長期闘病を経験し患者会を持つ立場から、教育研修のカリキュラムに、「患者の実態を知っていただく」一コマをぜひ入れていただきたい。相互理解の機会があれば、新卒者の勇気につながるかと思う。
- 新卒職員のリアリティーショックのフォロー体制が必要。心のフォローも支援をお願いしたい。

以上